

令和4年8月25日

会員各位

第70回全国博物館大会  
大会委員長 銭谷 眞美

### 第70回全国博物館大会のご案内

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より博物館の運営、活動にご尽力されていることに敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

さて、今年で70回目を数える全国博物館大会は、公益財団法人日本博物館協会の主催、こうちミュージアムネットワークの共催のもと、文化庁、高知県、高知県教育委員会、高知市、高知市教育委員会の後援を得て、令和4年11月16日（水）から11月18日（金）までの3日間、高知県立県民文化ホールを主会場として、「地域から発信する博物館の未来」をメインテーマに開催いたします。

今大会では、来年4月に改正博物館法が施行されることにより、新しい登録博物館制度の下で、これからの博物館制度がどのように変わっていくのかを共有するとともに、3つの分科会では、「連携」「保存と活用」「運営」という、今後の博物館の運営や活動について重要な3つのテーマを取り上げ、高知ならではの取組を中心に、地域からの視点で博物館の未来を考えてみたいと存じます。

大会開会式前日の11月15日はご当地出身の坂本龍馬の誕生日であり、その前後には毎年、高知市内で龍馬生誕祭と称してさまざまな行事が企画されております。また、来年のNHK朝のテレビ小説では牧野富太郎博士が取り上げられることもあり、地元も大いに盛り上がっていると伺っております。

今回の大会では、新型コロナウイルス感染症予防対策のために過去2年間中止せざるを得なかった1日目夜の情報交換会や、3日目のエクスカージョンも実施する前提で、感染状況を見極めながら、大会実行委員会のご協力の下に、感染予防対策に万全を期しつつ鋭意準備を進めております。

博物館制度の画期にあたり、期せずして70回目を迎える記念すべき全国博物館大会へぜひ、ご参加いただくとともに、長めの滞在をご予定いただき、地元の方々の人情に触れながら高知の魅力をご堪能いただければと存じます。

敬具

<開催要項>

- 主催 公益財団法人日本博物館協会  
共催 こうちミュージアムネットワーク  
後援 文化庁、高知県、高知県教育委員会、高知市、高知市教育委員会  
会期 令和4年11月16日(水)から11月18日(金)3日間  
会場 1. 高知県立県民文化ホール グリーンホール 【主会場・分科会会場】  
住所：〒780-0870 高知県高知市本町4丁目3-30  
TEL：088-824-5321  
2. 高知県立人権啓発センター 【分科会会場】  
住所：〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1-37  
TEL：088-821-4681  
3. オーテピア 【分科会会場・高知ミュージアムフェア会場】  
住所：〒780-0842 高知県高知市追手筋2丁目1-1  
TEL：088-823-4946

案内図



交通案内 (主会場：高知県立県民文化ホールまで)

【航空機をご利用の場合】

空港連絡バス(JR高知駅行き) <約25分> 「はりまや橋」下車。とさでん交通路面電車(鏡川橋、朝倉、いの方面)に乗り換え<約5分> 「県庁前」下車 徒歩数分

【JRをご利用の場合】

とさでん交通路面電車「高知駅前」<約5分> 「はりまや橋」下車。「鏡川橋、朝倉、いの方面行き」に乗り換え<約5分> 「県庁前」下車 徒歩数分

<日程>

今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により、すべての予定が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

第1日目： 11月16日（水）

会場：高知県立県民文化ホール グリーンホール

時 間	プログラム
11:00～12:00	表彰式・記念撮影：博物館功労者・永年勤続者1号表彰 ※関係者のみ
12:00～13:00	受付 ※検温等の感染予防対策を実施いたします。
13:00～14:15	開会式 挨拶：銭谷眞美（日本博物館協会会長） 祝辞：文化庁、高知県知事、高知市長 表彰式：博物館功労者2号・4号、日本博物館協会賞、 棚橋賞、博物館活動奨励賞表彰
14:20～15:10	基調講演「日本列島の自然と変動帯の文化」 講師：尾池和夫（静岡県公立大学法人理事長兼静岡県立大学長）
15:20～16:30	全国博物館フォーラム「地域の視点から考える博物館政策」 筒井秀一（こうちミュージアムネットワーク会長） ほか 文化庁はじめ詳細プログラム調整中 司会：半田昌之（日本博物館協会専務理事）
16:40～17:40 17:40～18:00	出展ブースプレゼンテーション アトラクション：高知大学よさこいチーム
18:45～20:30	情報交換会（三翠園）

第2日目：11月17日（木）

会場：高知県立県民文化ホール グリーンホール

高知県立人権啓発センター 6階ホール

オーテピア 4階ホール

時 間	プログラム
9：30～12：00	分科会1「連携・新たな博物館連携の可能性」 分科会2「保存と活用・文化行政の課題克服と文化資源の活用」 分科会3「運営・挑戦する地域の文化施設」 ※各分科会の詳細は次頁をご参照ください。
12：00～14：00	昼食／休憩 (12：15～13：30 決議起草委員会) ※ 昼食／休憩が2時間となっておりますので、オーテピアで開催中の高知ミュージアムフェアへぜひご参加ください。
14：00～16：00	シンポジウム「地域から発信する博物館の未来」(分科会の総括) <会場：高知県立県民文化ホール グリーンホール> 司 会：半田昌之（日本博物館協会専務理事） 報告者：岡田直樹（高知みらい科学館学芸員） 報告者：楠瀬慶太（高知地域資料保存ネットワーク事務局） 報告者：田所菜穂子（横山隆一記念まんが館長）
16：15～16：45	全体会議
16：45～	閉会式

第3日目：11月18日（金）

時 間	プログラム
8：00～17：00	エクスカーション 高知県内をメインとした3コース

\* 8時より自由参加プログラムとして、施設見学を行います。

(参加費無料・各コースとも貸切バス利用、昼食代とガイド料（東部コース、佐川・越知コース）は自己負担[事後振込])

ご希望のコースをお選びの上、お申し込みください。(定員あり。先着順)

【同時開催】高知ミュージアムフェア

(県内外の協賛企業団体によるブース出展・ポスターセッション)

11月16日（水）午後～11月17日（木）

場所：オーテピア4階特設会場

## ＜分科会詳細＞

### 分科会1「連携・新たな博物館連携の可能性」

内容： 改正された博物館法においても、今後博物館の振興に向けて重要とされる、地域内の博物館の連携とネットワーク構築のあり方について、高知県内の事例を中心に、館種特性を生かした連携・ネットワークの方向性を探ります。

コーディネーター：岡田直樹（高知みらい科学館学芸員）

報告①「牧野植物園が進めている地域、大学、企業、海外機関との連携（仮）」

講師：藤川和美（高知県立牧野植物園植物研究課長兼研究員）

報告②「県立博物館における地域連携・協力・支援～高知城博の試み～（仮）」

講師：渡部 淳（高知県立高知城歴史博物館長）

報告③「我がまち、まるごと星の博物館（仮）」

講師：宮地竹史（高知県香美市観光大使）

報告④「連携は人の為ならず 博物館はスタンドアロンでは機能できない（仮）」

講師：佐久間大輔（大阪市立自然史博物館学芸課長）

### 分科会2：「保存と活用・文化行政の課題克服と文化資源の活用」

内容： 全国的に少子高齢化と人口減少が続き、大規模災害も頻発する中で、過去の文化資源を保存し、活用を図りながら未来に受け継ぐために重要な、博物館が果たすべき役割について、実践的な事例をあげながら検討します。

コーディネーター：楠瀬慶太（高知地域資料保存ネットワーク事務局）

報告①「休校を利用した地域資料の保存と活用（仮）」

講師：田村公利（土佐清水市教育委員会事務局 生涯学習課市史編さん室長）

報告②「『収集→保存 あつめてのこす』展を開催して（仮）」

講師：塚本麻莉（高知県立美術館主任学芸員）

報告③「高知県内の自然史資料の現状（仮）」

講師：谷地森秀二（越知町立横倉山自然の森博物館学芸員）

報告④「社会的課題と博物館－人口減少社会の資料の守り手－（仮）」

講師：大河内智之（奈良大学准教授）

### 分科会3：「運営・挑戦する地域の文化施設」

内容： 博物館が、求められる社会的役割を果たしつつ、未来に向けて持続可能な活動を続けるために不可欠な、行政や地域の多様な連携を視野に入れた博物館運営のあり方について、高知県内の特色ある取組事例を中心に、今後の方向性を議論します。

コーディネーター： 田所菜穂子（横山隆一記念まんが館長）

報告①「挑戦する、廃校水族館（仮）」

講師： 若月元樹（むろと廃校水族館長）

報告②「地域を知る場所としての博物館リニューアル（仮）」

講師： 川村慎也（四万十市郷土博物館 四万十市教育委員会生涯学習課社会教育振興係長）

報告③「図書館等複合施設『オーテピア』」

講師： 高石敏子（高知市立市民図書館長 [オーテピア高知図書館]）

報告④「価値創造が切り拓く科学館経営」

講師： 神田正彦（浜松科学館副館長）

<エクスカーションコースの詳細>

◆Aコース（東部コース）（バス）

	高知県立県民文化ホール前	7:45	⇒
⇒	7:55 JR 高知駅	8:00	⇒
⇒	8:10 はりまや橋観光バスターミナル	8:15	⇒
⇒	9:45 中岡慎太郎館・生家	10:25	⇒
⇒	11:20 むろと廃校水族館	12:00	⇒
⇒	12:20 昼食	13:00	⇒
⇒	13:15 室戸世界ジオパークセンター	13:35	⇒
⇒	13:55 室戸岬・ガイド付き地形散策	14:35	⇒
⇒	16:20 高知空港	16:30	⇒
⇒	17:00 JR 高知駅		

※ 昼食の弁当代（1,650円）と室戸岬地形散策ガイド料金（一人500円）が必要です。

◆Bコース（中央部コース）（バス）

	高知県立県民文化ホール前	8:00	⇒
⇒	8:10 はりまや橋観光バスターミナル	8:15	⇒
⇒	8:25 JR 高知駅	8:30	⇒
⇒	9:30 香美市立やなせたかし記念館	10:15	⇒
⇒	10:45 絵金蔵・赤岡津波避難タワー	11:40	⇒
⇒	12:00 昼食	12:50	⇒
⇒	13:00 海洋堂 Space Factory なんこく	13:30	⇒
⇒	14:00 高知県立牧野植物園	15:00	⇒
⇒	15:10 竹林寺	15:40	⇒
⇒	16:00 JR 高知駅	16:05	⇒
⇒	16:40 高知空港		

※ 昼食の定食代（1,580円）が必要です。

#### ◆Cコース（佐川・越知コース）（バス）

	はりまや橋観光バスターミナル	7:45	⇒
⇒	7:55 JR 高知駅	8:00	⇒
⇒	8:10 高知県立県民文化ホール前	8:15	⇒
⇒	9:00 佐川町上町周辺の町歩き・佐川町立青山文庫	12:30	⇒
⇒	12:30 昼食	13:30	⇒
⇒	13:50 越知町立横倉山自然の森博物館	14:35	⇒
⇒	14:50 佐川町立佐川地質館	15:35	⇒
⇒	16:35 JR 高知駅	16:45	⇒
⇒	17:20 高知空港		

※ 昼食の弁当代（1,500円）と佐川町上町周辺の町歩きガイド料金（一人300円）が必要です。

※ 本コースは佐川町立佐川地質館見学終了後、越知町オプションツアー（別途宿泊費・食事代要）に参加が可能です。ツアーの詳細・申込は越知町立横倉山自然の森博物館のホームページ（<https://www.yokogurayama-museum.jp/>）をご覧ください。

#### <見学施設の紹介>

##### ◆Aコース（東部コース）（バス）

###### 【中岡慎太郎館】

平成6（1994）年4月にオープンした中岡慎太郎の生涯と業績の紹介ならびに顕彰するために建てられた歴史資料館。ドラマ仕立ての映像と慎太郎の遺品、幕末志士たちの遺墨類を展示することで中岡慎太郎の実像を紹介しています。

###### 【むろと廃校水族館】

高知県室戸市室戸岬町の旧椎名小学校を改修し、平成30（2018）年4月にオープン。屋外プールと校舎内に設置した水槽には、地元の定置網にかかったブリやサバ、カメなどがゆったりと泳いでいます。水族館でありながら学校の雰囲気味わえます。

###### 【室戸世界ジオパークセンター】

平成27（2015）年4月にオープンした、室戸ユネスコ世界ジオパークの楽しみ方を紹介する施設。3つのテーマで構成された展示を通じ、実際のフィールドを巡り、地元の人たちの話を聞き、人と大地の共生について考えるきっかけづくりを行っています。インフォメーションではガイドツアーの受付や観光案内なども行っています。

##### ◆Bコース（中央部コース）（バス）

###### 【香美市立やなせたかし記念館】

やなせたかしの故郷である香美市香北町に建つ「やなせたかし記念館」は、平成8（1996）年に開館した「アンパンマンミュージアム」に始まり、「詩とメルヘン絵本館」、「別館」という三つの施設で構成されています。やなせの多彩な創作世界の収集・研究・公開を柱に、幅広いジャンルの芸術文化を支援し、情報発信することが目的です。

### 【絵金蔵】

絵師・金蔵、通称・絵金は幕末に活躍した絵師で、高知城下を追放となり、赤岡の町に滞在し、旦那衆の求めに応じて、芝居絵屏風を数多く残しました。そのため、現在も香南市赤岡町には多くの作品が残っています。その作品を保存公開するための施設として、平成 17（2005）年に設立されたのが絵金蔵です。赤岡の町の人々の繋がりから生まれた施設で、現在もその繋がりを最も重視しています。

### 【赤岡津波避難タワー】

絵金蔵駐車場のすぐ南に設置された津波避難タワー。香南市に設置されている避難タワー 7 基のうちの一つ。香南市の最大津波予想は 15m で、避難タワー最上階の海拔は 19.8m となっています。

### 【海洋堂 Space Factory なんこく】

食玩などで有名な海洋堂ソフビフィギュア（ソフト塩化ビニール人形）が生まれる瞬間を見学できる施設。職人が作業している手元を映すカメラやモニターを整備しており、高度な技術を持った職人の精緻な作業の見学や、実際に「ジオラマづくり」「フィギュアの色塗」など「ものづくり」の体験もできます。

### 【高知県立牧野植物園】

高知が生んだ「日本の植物分類学の父」牧野富太郎博士の業績を顕彰するため、博士逝去の翌年、昭和 33（1958）年 4 月に高知市の五台山に開園しました。令和 4（2022）年は、牧野博士の生誕 160 年にあたり、翌年春には NHK 連続テレビ小説で牧野博士をモデルとしたドラマ「らんまん」が放送される予定です。

### 【竹林寺】

高知県立牧野植物園と隣接する竹林寺は真言宗智山派の寺院で、神亀元（724）年、聖武天皇の勅願を奉じた僧・行基により唐の五台山（現在の中国山西省五台山）になぞらえ開創されました。弘法大師もここで修業したため、四国霊場第三十一番札所に定められています。江戸時代には土佐藩主・山内家の帰依を受け、藩主祈願寺として大切に扱われてきました。

## ◆Cコース（佐川・越知コース）（バス）

### 【佐川町上<sup>うえまち</sup>町周辺の町歩き】

主催する NPO 法人佐川くろがねの会は、上町に現存する竹村家住宅（江戸時代から酒造業を営む商家で、屋号を「黒金屋<sup>くろがね</sup>」）が国重要指定文化財に指定された事を契機に、地元の歴史と文化の継承と活性化のために創設され、10 年以上の試行錯誤を経て、現在では佐川観光の中心的な役割を果たしています。上町周辺には、歴史的建造物・史蹟・名所・博物館を含む展示施設・お買い物スポットなどが点在していますが、それらの点を町歩きガイドが上手く繋げて、楽しく興味深い観光に仕上げています。

### 【佐川町立青山文庫】

佐川町出身の元宮内大臣・田中光顕が収集した幕末維新期の「志士たちの遺墨コレクション」を主に展示する博物館。佐川町出身の植物学者・牧野富太郎博士が連続テレビ小説の主人公のモデルに決定した事を受け、牧野博士の事跡を紹介する展示も実施中。

#### 【越知町立横倉山自然の森博物館】

高知県内では数少ない自然史系の博物館。主に横倉山の自然・遺物を紹介していますが、地球の歴史・生物の進化も同時に学習できるよう構成されており、横倉山に縁ある植物学者・牧野富太郎博士が愛した植物や、横倉山の歴史・伝説なども紹介しています。博物館の建物は世界的な建築家である安藤忠雄氏によって設計されており、横倉山の自然と調和を奏でる建物として注目されています。

#### 【佐川町立佐川地質館】

佐川町を中心とした佐川盆地は、西南日本外帯（秩父帯）の典型的な地質構造をした地域で、日本の地質学発祥の地の一つとされています。佐川地質館では、日本の地質学の祖として有名なナウマン博士、そして四国や日本列島の発達史を研究された小林貞一博士を紹介しています。また、高知県や佐川町で採集された化石はもちろん、国内外の化石コレクション、動く恐竜・ティラノサウルス（3/5大）、プレート運動を解説する動く大陸装置なども展示しており、「地質・化石の佐川」ならではのミュージアムとして、地球と生命の歴史をいろいろな角度から学ぶことができます。

## 参加申込方法のご案内

### 1. 会場の定員について

主会場である高知県立高知県民文化ホール グリーンホールの収容人員は500名であり、申込者全員を受け入れる能力があります。ただし、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況次第では収容人員の制限が実施される場合があります。締切時点で定員を上回った場合には、大会事務局にて参加者人数を調整させていただきます場合がございますので、ご了承ください。

### 2. 申込方法について

上述の状況を鑑み、本年も申込者全員と常時事前連絡ができる体制を確保いたします。1団体あたりの参加申込人数に制限はありません。申込書受付後の連絡は、原則E-mailにて行います。E-mailアドレスの記載がない場合は、電話もしくはFAXにてご連絡しますが、E-mailアドレス記載のある方を優先いたしますので、連絡可能なメールアドレスを必ずお書きください。

#### \*大会申込用紙：

参加申込書は当協会ホームページ（<https://www.j-muse.or.jp/>）からダウンロードできます。ダウンロードできない場合は、日本博物館協会までE-mailにてご請求いただければ、参加申込書をメールでお送りします。

FAXにてお申込みの場合は、P13の大会参加申込用紙に必要事項を記入の上、日本博物館協会までお送りください。

#### **【参加申込書送付・問合せ先】**

公益財団法人日本博物館協会 大会係

〒110-0007 東京都台東区上野公園1-2-5 黒田記念館別館3階

E-mail : webmaster@j-muse.or.jp

TEL : 03-5832-9108 FAX : 03-5832-9109

### 3. 申込締切について（情報交換会、エクスカージョンを含む）

参加申込締切は10月14日（金）です。（同日までキャンセル可）

### 4. 大会参加費、情報交換会費、エクスカージョン昼食代・ガイド料の支払いについて

今回の大会は、上述の事情により後払いとさせていただきます。

大会参加者には、大会当日、受付にて請求書をお渡ししますので、大会終了後に指定口座までお振込みください。当日の支払いは混乱を避けるためにご遠慮ください。

今後のコロナウイルス発生状況により変更となる場合がございますので、ご了承ください。

## 大会参加費について

大会参加費 会員 6,000円  
非会員 10,000円  
(いずれも1名につき)

※大会参加費は大会終了後の後払いとなります。

詳細は前頁の「参加申込方法のご案内」でご確認ください。

## 情報交換会のご案内

大会を機に親睦を深め、情報を交換する場として、下記により情報交換会を開催いたします。  
参加希望の方は大会参加申込書にてお申し込み下さい。

日 時 令和4年11月16日(水) 18時45分～20時30分

会 場 三翠園 富士の間 (着席式・募集定員あり)

〒780-0862 高知県高知市鷹匠町1-3-35 (主会場から徒歩5分)

TEL. 088-822-0131 (代表)

参加費 7,000円

※情報交換会費は大会参加費同様、大会終了後の後払いとなります。

10月14日(金)以降のキャンセルは受け付けませんのでご了承ください。

※お申込み多数の場合はご参加いただけない場合があります。

詳細は前頁の「参加申込方法のご案内」でご確認ください。

## 分科会の申込について

分科会は大会2日目午前中(9時30分～12時)に高知県立県民文化ホール、高知県立人権啓発センター、オーテピアの3か所に分かれて行います。会場の割り振りはそれぞれの分科会参加申込人数に応じて行います。参加を希望される分科会は、大会参加申込書にご記入ください。(後日の変更は、原則お断りしています。)

## エクスカージョンの申込について

エクスカージョンは3コースご用意しておりますが、いずれのコースも先着順40名(合計120名)で設定しております。お申込多数の場合も、バスを追加する予定はございません。

大会参加申込の受付順に、受付番号をメールにて返信いたします。参加申込状況につきましては、定期的に当協会ホームページのニュース欄でお知らせする予定です。

※昼食代とガイド料(東部コース、佐川・越知コース)は大会参加費同様、大会終了後の後払いとなります。

※10月14日(金)以降のキャンセルは受け付けませんのでご了承ください。

## 資料交換のご案内

資料交換ご希望の館園は、パンフレット、リーフレット等

各400部を11月14日(月)必着の着日指定にて下記宛にご送付ください。

送付先：〒780-0842

高知県高知市追手筋2丁目7番5号

高知県立高知城歴史博物館 気付

日本博物館協会 第70回全国博物館大会 係

TEL：088-871-1600

(品名欄には「全国博物館大会来場者用資料封筒分」と必ず明記ください。)

## 昼食・宿泊について

ご宿泊先は、会場周辺の帯屋町商店街を中心に多数の施設がございますので、各自で御手配ください。

また、ご昼食場所につきましては、「高知ミュージアムフェア」の会場オーテピア付近にたくさんの飲食店があります。大会当日には、会場周辺のランチマップを配布いたしますので、ぜひご活用いただき、お昼休みにオーテピアの「高知ミュージアムフェア」にもお立ち寄りください。(場所につきましてはP.2の掲載地図をご参照下さい。)

◎宿泊については高知市観光協会のサイトが便利です。<https://welcome-kochi.jp/stay.html>